

機械製缶部会 空知地区視察会 実施報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1. 実施日 平成 23 年 10 月 26 日 (水) 9:00~18:15
2. 視察先
(1) カワテックス(株)札幌支店・岡山工場
(2) 北海道住電精密(株)
3. 参加者 21 名 (機械製缶部会会員企業 15 名 部会外企業 5 名 事務局 1 名)

4. 見学の概要

- (1) カワテックス(株)札幌支店・岡山工場 10:00~11:30

○河戸社長より挨拶及び同社の沿革・現状などの説明を受けた。

- ・ 同社は現社長の父親が昭和 35 年創業し、事業を拡大してきた。
- ・ 現在滝川工場、砂川工場、岡山工場の 3 工場体制で経営、滝川工場は S F 二重殻タンクや防火水槽、内殻部の F R P を専門としている。岡山工場は平成 21 年に開設し、機械製缶部門を主に製作している。

○その後、同社が 10 年前から独自で導入したバーコード入力による工程管理について、高田営業部次長より詳細な説明がなされた。

- ・ 導入効果
 - ・ 作業者のコスト意識向上 (段取・スピード)
 - ・ 作業技術の向上
 - ・ 見積精度のアップ
 - ・ 工程進捗状況のリアルタイムな把握
 - ・ 作業遅れの原因分析が可能
- ⇒収益の向上、新規取引先の獲得

- ・ これはバーコード入力により「作業時間の見える化」であり、営業・製造・総務管理の情報の共有化であり、見学参加者も感心したり、興味を示す者が多かった。

○その後、河戸社長、高田次長ほかスタッフの説明で工場見学をした。(大物のダクトなど製缶類が製作されていた。)

- (2) 北海道住電精密(株) 13:30~15:00

○ツールエンジニアリングセンター (H i - T E C) で木村技師長及び菅田ビジネスソリューショングループ長から、同社の沿革や製品生産の説明を受けた。

- ・ 現在フル生産で月産 500 万個の超硬工具イゲタロイを生産、また第 2 T A 工場建設中。

- ・ 現在従業員 500 人、直近の売上 155 億円

○その後、2 グループに分かれ原料粉末の完粉工場からプレス、焼結、研削、コーティング、検査、包装まで最新のシステムとテクノロジーによる一貫生産を見学した。

- ・ 生産現場は、安全、環境、品質、納期、製品開発に全社一丸となって取り組んでいて、生産機械・装置も自社で内製化したものも多いとのことであった。
- ・ 生産に使う金型は 5 千個あり、うち 3 千個は使用頻度がある程度高い。また焼結現場は 1400°C で 14~16 時間かけて焼結するため、非常な暑さを感じた。
- ・ ツールエンジニアリングセンターでは、既往の超硬工具と最新の超硬工具の比較実演をしてくれ、切削状態や消費電力の比較など見せてくれた。

5. その他

- ・ 昼食は、美唄名物 「とりめし」
- ・ 視察後は「新しいえ温泉」で入浴とビールで懇親を図った。(1 時間半強)

以上



カワテックス(株) 札幌支店 岡山工場にて



北海道住電精密(株) ツールエンジニアリングセンター前にて